



2018
▼
2025

MARUGAME

第二次
丸亀市総合計画

豊かな未来を一緒に作りましょう



第二次丸亀市総合計画

MARUGAME

豊かで暮らしやすいまち 丸亀

豊かな未来を一緒に作りましょう



M A R U



G A M E

日々の生活のなかで幸せを実感できる「豊かでくらしやすいまち 丸亀」をめざして—

総合計画は、めざすまちの姿を描き、その実現のためにどのように取り組んでいくのかを示したものです。

まずは、総合計画を手にとっていただき、

一緒に私たちのまちの未来について考えてみませんか？

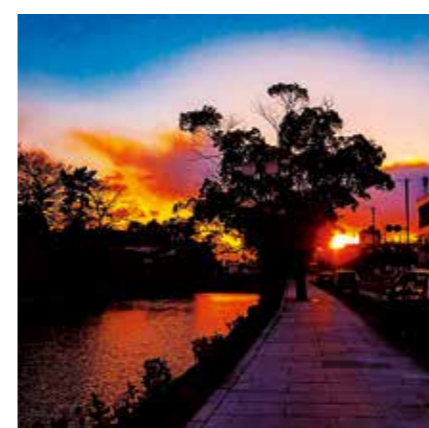
丸亀のいいところを、セカイへ発信

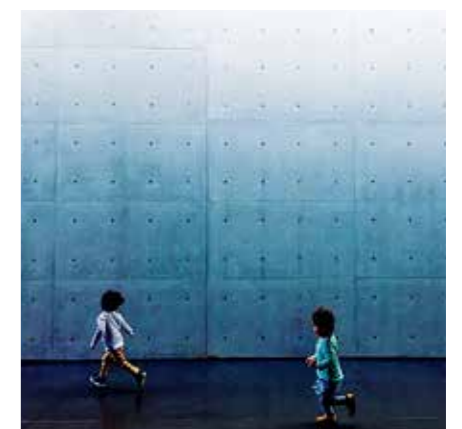
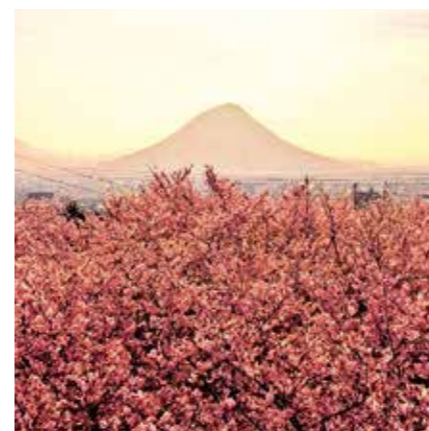
マルカメラ



#marucamera

市の公式Instagram
「マルカメラ(#marucamera)」
投稿写真の中から、
丸亀の風景を紹介します。





CONTENTS

第二次丸亀市総合計画

豊かな未来を一緒につくりましょう

02 プロローグ

04 PHOTO MARUGAME 丸亀の風景

10 Chapter 1 私たちがめざすもの

今後8年間でめざすまちの姿や、
取組を進めるうえでの方針を示しています。

12 将来像 豊かで暮らしやすいまち 丸亀

14 協創と協働によるまちづくり

15 未来の姿 5つの基本方針

26 Chapter 2 4年間でやること

丸亀市のめざす姿に向けて、4年間で重点的に取り組む
11の大切なことについて示しています。

28 11の大切なこと



30

I 心豊かな子どもが育つ

未来を担う子どもたちが心豊かに、健やかに成長できるまちをめざして、妊娠・出産期から安心して子育てができる環境整備に関する取組内容を示しています。

34

II 安心して暮らせる

住みよいまちをめざして、安心できる生活環境の整備や基盤の強化に合わせて、生活の利便性の向上を図る取組を示しています。

38

III 活力みなぎる

多くの人でにぎわい、市民と地域の活力がみなぎる、元気なまちをめざして、地域産業の活性化や働く環境を充実させる取組を示しています。

42

IV 健康に暮らせる

すべての市民がいきいきと暮らしていけるまちをめざし、市民の健康づくりを推進するとともに、高齢者や障がいのある人などの支援を充実させる取組を示しています。

46

V みんなでつくる

楽しみや生きがいをもって暮らすことができるまちをめざし、これからの丸亀市をみんなでつくるための協働による取組を示しています。

51

Chapter 3 資料編

52 総合計画Q&A

54 丸亀年表 まちづくりの変遷

56 計画の体系図

58 成果指標一覧

62 用語集

64

エピローグ



Chapter1

私たちがめざすもの

この章では、8年後の将来に向けて、丸亀市がこれからどんなまちをめざすのか、
そのためにどのような視点でまちづくりに取り組んでいくのかを明らかにしています。

MARUGAME

豊かで暮らしやすいまち 丸亀



Chapter 1

たくさん子どもたちの元気な声に囲まれ、市民一人ひとりの活力が満ちあふれ、
いつまでも安心して健康に暮らせるまちをめざして—
これからの丸亀市がすすめるまちづくりは、
日々の生活のなかで幸せを実感できる「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」。
心が満たされ、楽しく、快適に暮らすことができるまち、そして、
市民の誰もが主役となり、自分らしく、いきいきと輝くまち。
そんなまちを、みんなでつくりましょう。

将来像 豊かで暮らしやすいまち 丸亀

計画(まちづくり)を進めるうえで大事なこと

みんなの力が丸亀市を豊かにします

協創と協働によるまちづくり

《まちづくりのキーワード》

協創 + 協働

まちづくりに関わるすべての人や団体が、協力してまちを創り上げる

《まちづくりの手法》

立場の異なる者が目標に向けて協力する

協創には、次のようなものがあります。

人と人の協創

地域に住む一人ひとりが、自らの智慧や能力、技術を提供し合い、お互いに協力し、助け合いながら、いきいきとした元気のあるまちをめざします。

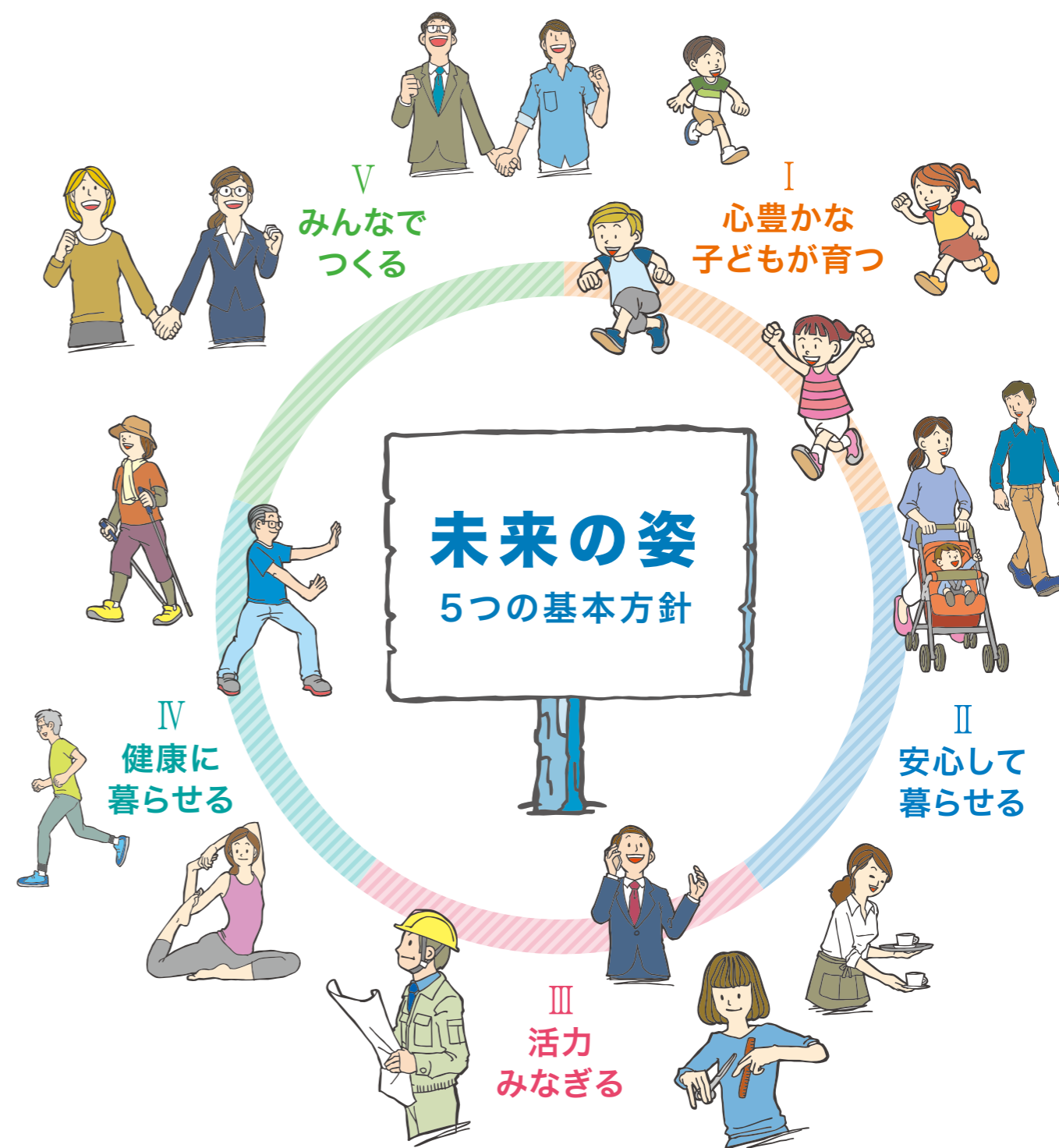
自然や歴史、まちの協創

自然・歴史・文化・まちの賑わいなど各地域の財を生かすこと、それらをつなぎ交流を図ることで、個性と魅力にあふれたまちをめざします。

市民と行政の協創

市民、地域コミュニティ、NPOなどと行政が、互いの役割と責任を自覚し、力を合わせて暮らしやすく快適なまちをめざします。

私たちのまちを一緒に作りましょう!



めざすまちの姿「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」を実現するためにはどんな取組が必要なのか。

まちづくりを5つの大きな方針に分けて、それぞれの分野で一歩ずつ確かな取組をすすめます。



I 心豊かな子どもが育つ 丸亀市

「おはようございます!」大きな声で挨拶する子ども、学校の校庭では、元気に走りまわり、赤ちゃんが泣けば、周りの人がやさしく声をかけてくれる。子どもが笑顔でいられるまちは、豊かな暮らしがあるからこそ実現します。子どもは丸亀市の未来そのものです。子どもが笑顔でいるためには、親も笑顔でなくてはなりません。核家族化による子育ての孤立感、仕事に追われる日々など、苦しい現実もそこにはあります。

地域が家族となって、地域みんなで子育てができることはどんなにすばらしいことか。笑顔があふれる子どもたちがたくさん育つまちをめざして丸亀市は全力をつくします。



II

安心して暮らせる 丸亀市

豊かな暮らしを実現するには、安心して快適に暮らせる環境がなくてはなりません。近年、東日本大震災、熊本地震をはじめ大きな災害がつづいています。異常気象による大雨など自然災害の脅威は、市民が強く感じることとなりました。丸亀市に住む市民を守る。それは大きな命題の一つです。

また、生活の利便性が高く、心のゆとりや満足感が生まれる環境は、市民が心から求めている暮らしの要素の一つだと思います。これまで以上に住みよいまちをめざして、安心して快適にくらせる丸亀市を実現します。



Ⅲ

活力みなぎる 丸亀市

丸亀市は、丸亀藩の城下町として栄え、さらには金刀比羅宮への参拝口として、昔から人々の交流が盛んでした。伝統的工芸品である「丸亀うちわ」は金毘羅参りのお土産物として考案され、うちわ産地の基盤を築くことになりました。

今、丸亀市の産業界にも、少子高齢化の波が押し寄せ、地域産業からは「人材不足」、「後継者不足」という声が多くなってきました。地域間の競争が激しくなるなかで、丸亀市が将来にわたって大きく成長するために、地元産業の成長を支援し、働く環境をつくることはもちろんのこと、丸亀市の魅力を最大限に発揮して、訪れる人をどんどん増やすことが大切です。多くの人がいきかい、にぎわうまち、活力みなぎる元気なまちをめざします。



IV

健康に暮らせる 丸亀市

まちを歩いていると多くの方がランニングやウォーキングをしています。健康志向が高まりを見せ、健康づくりに取り組む人は多くなりました。一方で、生活習慣病や高齢化の進行といった社会的な課題は、複雑でいろいろな問題を抱えています。障がいのある人や生活に不安をもっている人など、サポートを必要とする人たちもみんな、丸亀市で健康に暮らしたいと願っています。一人ひとりの状況を考えながら健康づくりを支援し、サポートを必要とする人たちも福祉サービスによるサポートだけでなく、地域で支え合えるような環境をつくり、すべての市民がいぎぎと暮らせるまちをめざします。



V

みんなでつくる 丸亀市

みんなでつくる。簡単そうで難しいことです。地域のつながりが弱くなってきたことや丸亀市を運営するためのお金の問題など、乗り越えないといけない壁はたくさんあります。しかし、大きな壁も協力し合い、みんなで登れば大きな壁でなくなるかもしれません。みんなで出した力が大きければ大きいほど、大きな壁をのぼることができます。壁を登ったとき、まちへの愛着が深まり、みんなでつくる力は大きくなります。丸亀市に住む市民、地域コミュニティ、企業など、まちを形成するすべての人の力で、未来の丸亀市をつくっていきたい。みんなでつくることで豊かな暮らしを実現します。